

## 金属製鬼飾りの生産高日本一

日本建築の伝統美を探究して。



→グラデーションが美しい銅製の照明「コパーライト」。



同社は、昭和 23 年に建築板金業者として創業。昭和 48 年に法人化し、同時期より金属製鬼飾りをはじめとする建築用装飾品の製造に事業内容を変更した。

以来、着実に実績を重ねて、主力の金属製鬼飾りの分野では国内で過半数のシェアを占めるに至った。

なかでも神社仏閣関係の鬼飾りに関しては、職人の手造りを主体とした高い技術力に加え、種類も豊富で、他の追随を許さない。

さらに近年は、既存製品の他、銅製の照明「コパーライト」、行灯、花器等、各種銅製品の製造を手掛けるなど、新たな顧客獲得に注力している。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | デザインとバランスを重視した製品が施主、建築業者等から高く評価され、徐々に顧客の拡大に繋がった。 |
| 技術のポイント | 熟練した職人の手作業に加え、機械加工を合わせて、幅広いデザインに素早く対応している。       |
| 企業の特長   | 日本建築の伝統美を探究し、常に技術の研鑽に努めている。                      |
| 希望取引先   | 【販売先】社寺関係の建築業者・設計事務所<br>【購入先】—                   |

代表取締役  
齋藤 進



事業内容●金属製鬼飾り等、建築装飾品の製造・販売、一般金属工芸品の製造・販売

設立●1973年 資本金●1800万円  
従業員●58名  
事業所●本社＝山形県東田川郡庄内町常万字大乗向 47-1  
TEL0234-43-4833  
ホームページ●<http://www.amarume.co.jp>  
Eメール●[info@amarume.co.jp](mailto:info@amarume.co.jp)

# トロイダルコイルの生産高日本一

電磁波の雑音を除去し、電子機器の誤作動を防止。



同社は創業以来、主にトロイダルコイルを製造してきた。トロイダルコイルとは、電子機器の誤動作の原因となる電磁波の雑音(ノイズ)を除去するためのコイルで、インバーターエアコンやパソコンの電源アダプター、家電製品や各種通信機器などの精密機器に使われている部品である。



同社のコイル生産は、これまで約 1000 名余の手作業によって作られていたが、2005 年 12 月に、完全自動の巻線機が完成した。

巻線の自動化によって、製造コストを中国生産の製品と同等にすること可能となり、製造業の国内回帰に、意欲的に取り組んでいる。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 昭和 57 年に、二次下請けとして創業し、昭和 59 年から一次下請け、平成 7 年にメーカーに転身を果した。中国製品と同等の価格で、日本の納期と品質水準の製品を提供してきたため。 |
| 技術のポイント | 完全自動巻線機を開発し、「労働集約型産業から設備集約型産業への転換」、「製造の国内回帰」に取り組んでいる。現在は、自動巻線機の量産を計画している。                  |
| 企業の特長   | 「競争力を高め、顧客満足を増大を図る」ことを基本理念して、常に志を大きく持ち、小さくてもきらりと光る存在を目指している。価格を含めて世界市場に通用する競争力の維持に余念がない。   |
| 希望取引先   | 【販売先】電源製造各社<br>【購入先】フェライトコアメーカー、ダストコアメーカー、電線メーカー   |

代表取締役  
上野 隆一

事業内容 ● ノイズフィルターコイル、平滑用チョークコイルの設計・製造  
設立 ● 1982 年

資本金 ● 1 億 1270 万円 従業員 ● 50 名 事業所 ● 本社 = 山形県鶴岡市三和字堰中 100 TEL0235-64-2254  
工場 = 中国東莞工場、山形県三川町  
営業所 = 東京・大阪・韓国(ソウル)  
ホームページ ● <http://www.uenokk.co.jp>  
Eメール ● [info@uenokk.co.jp](mailto:info@uenokk.co.jp)

## メノウ製乳鉢の生産高日本一

試料粉碎分析に最適な高純度原石を加工。



研究室等で使用されている乳鉢は宝石でもあるメノウ原石の純度の高いものを加工して製造されている。

メノウは硬度7と非常に硬く加工は難しいが、メノウ乳鉢で試料を粉碎すると、コンタミ（試料以外の混入）がなく、粉碎分析には最適であると言われている。

同社は現在、大学（工学部）と共同でメノウを使った「自動粉碎機」や、高純度の石英ガラス塊を加工した乳鉢、ポットミル等を開発している。さらに微細粉碎を高めたスリット乳鉢、光拡散を利用した発光ダイオードによる照明器具なども開発しており、新しい製品の開発にも積極的である。

↑ 3軸振動回転式自動粉碎機  
メノウ乳鉢



|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 昭和30年代には国内でも加工している業者はあったが、今は同社だけとなった。常に生産向上の為に技術の研究開発を行っている。 |
| 技術のポイント | ダイヤモンド、サファイアに次ぐ純度と硬度の特性を生かしたメノウの微細な加工研磨技術。ガラス加工研磨にも応用可能。     |
| 企業の特長   | 乳鉢・乳棒を主に製造しているが、オーダーにも対応可能。提案があれば希望に添える自信有り。（石臼、ミルポット、装飾品等）  |
| 希望取引先   | 【販売先】グラデーションする発光LED照明台の取扱会社<br>【購入先】—                        |

代表取締役  
城戸 一正



事業内容 ● 理化学研究分析用メノウ粉砕器の製造  
設立 ● 1960年

従業員 ● 2名  
事業所 ● 本社（工場）＝山形県鶴岡市  
鼠ヶ関中道 57-3  
TEL0235-44-2977 FAX0235-44-2833  
Eメール ● kido-meno1230@khaki.plala.or.jp

# アテロコラーゲン研究試薬キットの生産高日本一

アテロコラーゲンの技術を応用した先端医療への取り組み。



同社は医療機器や化粧品などに用いられるアテロコラーゲンのリーディングカンパニーで、同社のアテロコラーゲンは国際的にも高い評価を得ている。大日本住友製薬㈱、国立がんセンター研究所と共同開発した技術を活用し、2005年12月より大学や研究機関向けに実験動物用核酸導入試薬「AteloGene®」の発売を開始。この製品は従来の手法と比較し安全で効率的な生体内への核酸導入を可能にし、がん研究等で大きな成果を上げており、将来の核酸医薬品開発に繋がるものと期待されている。同社と大日本住友製薬㈱が特許を保有。「AteloGene®」は㈱高研の鶴岡工場のみが生産できる製品である。

→アテロコラーゲンの技術は皮下埋入材や止血剤としても実用化されている。



日本一の経緯

アテロコラーゲンの先駆的開発企業として、1996年より信頼あるパートナーとの共同開発を通して獨創性・特許性のある商品を生み出している。

技術のポイント

アテロコラーゲンと核酸を混合することにより、核酸の分解を防ぎ、生体内における効率的なデリバリーを可能にした。この技術は、2000年日経BP技術賞（医療・バイオ部門）並びに2006年日本人工臓器学会オリジナル賞を受賞。

企業の特長

コラーゲン事業をはじめ、その他メディカルプラスチック事業、生体モデル事業など、特定の分野で力を発揮する領域を持っている。

希望取引先

【販売先】大学、各種医療研究機関、製薬企業など  
【購入先】—

代表取締役  
宮田 暉夫



事業内容●医用機器・医療器材・化粧品原料、並びに化粧品の製造・販売  
設立●1959年

資本金●1億1000万円  
従業員●200名  
事業所●本社＝東京都豊島区目白3-14-3 TEL03-3950-6600  
工場＝山形県鶴岡市 TEL0235-24-3992  
営業所＝大阪・福岡  
ホームページ●<http://www.kokenmpc.co.jp>

# ラスクの販売額日本一

日本で初めて贈答に使えるラスクを開発し新たな市場を創造。



→ラスクの生産工程



パンの副次的生産物だったラスクを、ラスクのためにパンを焼くという逆転の発想で、贈答に使える領域にまで磨き上げ、新たな市場を創出した。

山形に本社を構え、清らかな環境のもと洋菓子、ラスク等を自社生産。ラスクの販売方法は全国に向けた通信販売が主力である。

積極的な広告宣伝を行わず、購入者の自発的な口コミに期待する「そよ風マーケティング」、味に納得いかなければ返品に応じる「納得保証制度」、受注した翌日生産、翌々日に発送する「スーパーフレッシュローテーション」などのユニークな販売手法をとる。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 初めて高級ラスクを量産化、これを主に通信販売で売り、ラスクだけで年間 22 億円の販売額を誇る。   |
| 技術のポイント | 完全機械化では作れない本格フランスパンの量産化技術を確立。暗黙知、勘コツ経験の世界だったフランスパンの生産をデータ化、マニュアル化し、敢えて手作業を残した作業工程で量産化する。フランスパンの生産量は多いときで日産約 15000 本。 |
| 企業の特長   | 主に通信販売を行なうPIS事業と有店舗によるMIS事業が半々。店舗のMIS事業は、洋菓子、パン、カフェレストランの郊外型複合大型店が中心。駐車場に木を植えるなどロハスな空間の提供を重視している。                    |
| 希望取引先   | 【販売先】一般個人<br>【購入先】食品材料商社及びメーカー   |

代表取締役  
熊谷 真一



事業内容 ●ラスク、洋菓子、パンの製造・販売及び飲食業  
設立 ●1970 年

資本金 ●4 億 8835 万 5 千円  
従業員 ●216 名  
事業所 ●本社 ●山形県山形市蔵王松ヶ丘 2-1-3 TEL023-689-1131  
ホームページ ●<http://www.cybele.co.jp>  
Eメール ●[ir@cybele.co.jp](mailto:ir@cybele.co.jp)

## 家庭用高級ロックミシンの生産高日本一

アイデアを生み出す創造力と、それをカタチにする技術力。



↑波上の縫目がソーイングを広げる。  
「ベビーロック縫工房 Wave」

布の縁かがりをする専用ミシンを、業界初の家庭用高級ロックミシン「ベビーロック」として開発。多種多様な飾り縫いミシンに発展させ、高級タイプでは国内 90%を確保している。開発力で業界をリードし、優れた技術力で新製品を創り出す。また数多くの特許により独創技術を守り、瞬時に糸を通す自動糸通し装置は発明大賞を受賞。世界初の機械式自動糸調子装置は、「波目縫い」を可能とし、更に飾り縫いの種類を増やし 5 針 8 本糸で 50 種類以上の縫目が出来る「縫工房」、偏平縫い専用「ふらっとろつく」、波目縫いを加えた「ウェーブロック」など、マーケットインの考え方で、次々と新製品を産み出している。

|         |   |
|---------|---|
| 日本一の経緯  | 昭和 40 年小型ロックミシンの先駆機「MS ロック」を開発、昭和 42 年家庭用高級ロックミシン「ベビーロック」として製品化、以来同市場では寡占的な営業基盤を構築している。 |
| 技術のポイント | 自動糸通し装置「エアスルーシステム」、糸の張り具合を自動で調整する「オートテンションシステム」など、国内外で 234 件の特許を出願し、開発力と独創性で業界をリード。     |
| 企業の特長   | 販売は商社に任せ、同社は開発・製造に特化、効率的な分業体制によって着実に業界への浸透を図っている。                                       |
| 希望取引先   | 【販売先】国内外商社<br>【購入先】国内外、関連メーカー   |

代表取締役社長  
鈴木 重雄

事業内容●家庭用ミシン・工業用ミシン  
包装機の製造  
設立●1953 年

資本金●5 億円  
従業員●107 名  
事業所●本社＝山形県山形市河原田 3-1  
TEL023-684-0843  
ホームページ●<http://www.suzuki-ss.co.jp>  
Eメール●[suzuki@suzuki-ss.co.jp](mailto:suzuki@suzuki-ss.co.jp)



## 無散水式消融雪工事の施工高日本一

さまざまな自然エネルギーを利用した最新の消雪工法。



↑ 文翔館前広場  
→ さく井現場



路面に散水せずに雪を消す無散水消雪工事では、全国の積雪寒冷地域において 120 万㎡を超える実績を持ち、国内シェアの 50% を占める。消雪の熱源として、地下水を中心に、地中熱、空気熱、海水熱、バイオマス等さまざまな自然エネルギーを主体的に利用しており、計画地の諸条件にあったコンサルティングから施工までを手がける。近年、家庭用無散水消雪システム「ジョサネ」を開発。山形県内の主要銀行と提携した優遇ローンをサポートさせるなど、販売促進を図っている。

食品衛生法に基づく登録検査機関でもある日本環境科学(株)他 2 社を含めた JGD グループとして多角的な事業を展開。

|         |   |
|---------|---|
| 日本一の経緯  | 無散水消雪工事で用いる放熱管の内製化に成功しただけでなく、消雪工事に関するさまざまな特許を取得するなど、他に先駆けた取り組みで市場の評価を獲得している。      |
| 技術のポイント | 自然エネルギーの有効利用(地下水還元方式、地下水の持つ熱エネルギーだけを利用し、放熱後の地下水は地下に還元するなど、地球環境問題に配慮した消雪方法を開発している) |
| 企業の特長   | 米国ウオルシュ社と技術提携を行い、土壌地下水汚染対策事業でも多くの実績を積んでいる。温泉掘削工事では、全国的に 160 孔の実績を有する。             |
| 希望取引先   | 【販売先】官公庁、民間企業、一般家庭<br>【購入先】資材・機材メーカー等   |

代表取締役  
桂木 宣均



事業内容●無散水・散水消雪システム  
設計・施工、温泉掘削工事、地下水さく井工事、環境改善事業他

設立●1962 年  
資本金●8000 万円 従業員●138 名  
事業所●本社＝山形県山形市松原 777 TEL023-688-6000  
工場＝山形 支店＝12 カ所  
ホームページ●<http://www.jgd.co.jp>  
Eメール●[webmaster@jgd.co.jp](mailto:webmaster@jgd.co.jp)

# 山形 マーレ・エンジン・コンポーネンツ・ジャパン株式会社

## ディーゼルエンジン用ピストンの生産高日本一

各種自動車及び船舶、農業機械、建設機械などの内燃機関用。



→ 内燃機関用ディーゼルピストン



ドイツのシュトゥットガルトに本社を置くマーレグループは同分野で世界のトップシェアを誇る。グループの日本法人である同社はピストンエンジンコンポーネント部門においてアジア地域の本社としての役割を担う一方、ディーゼルエンジン用ピストンで高い製品開発力と技術力を有する国内シェア 80%のリーディングカンパニーである。アルミ製ピストンの主力工場である鶴岡工場では、桶川本社の開発部門と連携の上、鋳造から加工・品質管理までの一貫生産を行い、厳格な品質基準を満たし迅速に納入している。山形県内では大江町に、技術優位性の高いNCIピストンを主力とする山形工場を有している。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 創業以来ディーゼルエンジン用ピストンに技術力と開発力を集中的に投下して事業展開を進め、各種自動車及び船舶、農業機械、建設機械の内燃機関用ディーゼルピストンで国内トップシェアを誇る。 |
| 技術のポイント | 製品設計・エンジン実験から製造・品質管理までの一貫生産体制によって、顧客ニーズに応える一方、ISO14001 認証取得のもとクリーン対応にも積極的に寄与している。          |
| 企業の特長   | 80年もの長きにわたって自動車等の内燃機関の開発に従事してきた実績と、マーレグループの一員という世界的企業としての側面を持ち、社内に高い技術力や製品力をナレッジとして蓄積している。 |
| 希望取引先   | 【販売先】自動車及び船舶、農業機械、建設機械等の各種メーカー<br>【購入先】—   |

代表取締役  
アイヴァン・エイ・レネハン



事業内容 ● 内燃機関用ピストン、シリンダーライナーの製造・販売  
設立 ● 1923年

資本金 ● 12億5000万円 従業員 ● 1046名  
事業所 ● 本社 = 埼玉県桶川市赤堀2-17 TEL048-772-5611  
鶴岡工場 = 山形県鶴岡市市田1-12-10 TEL0235-23-9111 他工場 = 西川・山形・平田 支店 = 東京・大阪  
ホームページ ● <http://www.jp.mahle.com>



# 山形 株式会社マルハチ

## 茄子の漬物の生産高日本一

「小さくともキラリと光る」会社をめざして。



同社は漬物メーカーとして東北地区トップクラスの地位を確立。中でも主力商品である「若もぎ小茄子」をはじめ、茄子の漬物に関しては国内シェアの約20%を占め、2位以下を大きく引き離している。

「小さくともキラリと光る会社をめざす」という経営理念を掲げ、独自の商品を次々と送り出し消費者の支持を得てきた。

その根幹となるのは、地元契約農家が生産する厳選素材である。

さらに研究開発室での高い商品開発力、県外市場への積極的な営業活動がパワーの源となっている。

→三陸産めかぶの素材の味を生かした新商品、ねばねば。



|         |   |
|---------|---|
| 日本一の経緯  | 漬液が透明な茄子漬「まるっこ」がヒット商品となる。その後、平成12年に発売した「若もぎ小茄子」が大ヒットし、主力商品に成長した。                |
| 技術のポイント | 研究開発に3年をかけて「茄子漬の液は紺色」という既存概念を打ち破り、透明な漬液を実現。茄子の色もコントラストが美しく、食味も素材を生かして新鮮でみずみずしい。 |
| 企業の特長   | 全国に漬物メーカーは数あるが、商品開発力には絶対的な自信を持つ。研究開発室では専門スタッフが日々研究開発に当たり、新商品を生み出し続けている。         |
| 希望取引先   | 【販売先】—<br>【購入先】—  |

代表取締役  
阿部 武敏



事業内容 ● 各種漬物(あさ漬)の製造・販売

設立 ● 1961年 資本金 ● 5000万円

従業員 ● 165名

事業所 ● 本社 = 山形県東田川郡庄内町廿六木字五反田 75-1

TEL0234-43-3331 工場 = 山形・埼玉

ホームページ ● <http://www.maruhati.net>

Eメール ● [info-08@maruhati.net](mailto:info-08@maruhati.net)

## 将棋駒の生産高日本一

伝統と磨かれた技術からこそ本物が生み出される。



→ 実用駒から、お土産品の置き駒まで



天童将棋駒の歴史は江戸時代に始まり、技術・技法を現在まで受け継いできた伝統的工芸品である。そして将棋駒の生産高日本一を誇る。

天童将棋駒の特徴は、草書体の書き駒にあるが、彫り駒をはじめ近年は彫り埋め駒・盛り上げ駒などが盛んに作られ、名人戦や竜王戦などプロの対局にも使用されている。

木目と木肌、そして駒文字の美しさは、手作りの温もりを通して使う人を魅了する。

長い年月で培われた知識と、継承されて鍛えられた技術が製作工程の中にいくつも生かされており、本物が生み出す質感を堪能できる。

|         |   |
|---------|---|
| 日本一の経緯  | 160 年程前、織田信長の末裔が天童織田藩として誕生したのが始まり。内職のひとつだった将棋駒作りを、後の勤王の志士として知られた吉田大八が「将棋は戦術を練る競技であるから、将棋作りは武士の面目を傷つけるものではない」として藩士に奨励したことから広まった。 |
| 技術のポイント | 長い年月で培われた知識と、継承されて鍛えられた技術が、製作工程の中にいくつも生かされている。  |
| 企業の特長   | 平成 8 年に天童将棋駒が経済産業省の伝統的工芸品に指定されたことで、国・県・市の支援を受け、需要開拓事業、後継者育成事業等の活力ある事業を行っている。  |
| 希望取引先   | 【販売先】— 【購入先】—   |

理事長  
庄司 浩助

事業内容 ● 業界振興、原材料の共同  
仕入・製品の共同販売・品質管理  
設立 ● 1954 年

出資金 ● 97 万 5 千円  
組合員数 ● 32 名  
事業所 ● 本社 = 山形県天童市老野森  
1-3-28 天童商工会議所内  
TEL023-654-3511 FAX023-645-7481  
ホームページ ● <http://www.tendocci.com/koma/>

## スリッパの生産高日本一

河北町は草履の産地からスリッパ日本一の町へ。



→「世界スリッパ卓球大会」  
で使用するラケットスリッパ



山形県河北町周辺地域は、かつて日本一の草履の産地としてその名を高めていた。

しかし、日本の住環境の変化に伴って、草履の需要が減少してきたため、昭和 30 年代後半から 40 年代にかけて素材を布などに変えて、スリッパの生産に移行した。

山形県スリッパ工業組合は、地域の生産者から構成されており、スリッパの生産量は国内シェアトップである。

低価格の輸入品との競合で生産量は減少しつつあるものの、軽量でソフトに足にフィットし履いたときの音が静かな高級品や、デザイン性に優れた新製品の開発などに取り組んでいる。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 昭和 40 年代の高度成長の頃、日本の住宅に廊下や応接間ができるなど、住宅構造の変化があり、スリッパの需要が高まった。それにあわせ、スリッパの製造、販売を進めたことによる。 |
| 技術のポイント | 軽量で足にフィットし、履いたときの音が静かな高級品や、デザイン性に優れた新製品の開発などに取り組んでいる。                                  |
| 企業の特長   | 低価格の輸入品に対抗するため、デザイン力や技術力など総合的な力を発揮して差別化を図っている。   |
| 希望取引先   | 【販売先】量販店、ホームセンター、デパート、専門店、商社<br>【購入先】—   |

理事長  
阿部 弘俊

事業内容●スリッパの製造  
設立●1982 年  
組合員●8 社

事業所●山形県西村山郡河北町谷地  
字月山堂 654-1 河北町商工会内  
TEL0237-73-2122  
FAX0237-73-2124

## 穀物乾燥機の生産高日本一

粳、麦を乾かす穀物乾燥機で全国展開と海外輸出。



ポストハーベスト(米の収穫から流通に至るプロセス)領域で、農業の省力化・合理化・効率化を実現する機器・システムのメーカーである。

主力商品の穀物乾燥機は、遠赤外線乾燥・熱風乾燥・汎用乾燥など多彩なラインナップを誇り、国内シェアの26%を占めている。兼業の米づくりから、専業農家まで広範囲の生産者からの支持を得ている。

全国の主要都市に営業拠点を設けて販売拡大を図る一方、米国・中国・台湾など海外にも輸出している。

所持特許総数は280件、ISO9001、ISO14001を認証取得している。

|         |  |
|---------|--|
| 日本一の経緯  | 地域密着型の営業展開と顧客第一主義。                                       |
| 技術のポイント | 遠赤外線を利用した遠赤乾燥機をいち早く商品化。                                  |
| 企業の特長   | 乾燥機などの農業機械、精米機器の主力商品を深耕しつつ、新商品を市場に投入できる魅力ある商品開発を進めていること。 |
| 希望取引先   | 【販売先】農機メーカー、農業関連企業・団体<br>【購入先】—                          |

代表取締役社長  
山本 文実



事業内容●農業用機械の製造  
設立●1961年  
資本金●9600万円 従業員●369名

事業所●本社＝山形県天童市大字老野森 404 TEL023-653-3411 事業所＝東根市、事務所＝東京、営業所＝岩見沢・東根・新潟・小松・小山・安城・豊中・岡山・高松・大野城・都城  
ホームページ●<http://www.yamamoto-ss.co.jp>  
Eメール●[info@yamamoto-ss.co.jp](mailto:info@yamamoto-ss.co.jp)